

「農地中間管理機構」を活用しましょう

農地中間管理機構を利用した農地の貸し借り



メリット

- ・公的機関なので、安心して貸し借りできます。
- ・地権者が複数居ても、契約が一本で済みます。

農業者年金に加入しませんか

農業年金は、農業者だけが加入できる公的年金です。自分で納付した保険料を年金の原資とする積み立て方式で、加入者数の変化や財政事情に左右されない公的年金です。詳しくは 農業委員会事務局 まで。

<加入要件>

- ① 20歳以上60歳未満の方
- ② 国民年金の第1号被保険者
- ③ 年間60日以上農業に従事する方

<加入のメリット>

- ① 積立方式で安定した財政運営が実施されます。
- ② 80歳まで保証のついた終身年金です。
- ③ 保険料は自由に選択でき、いつでも変更できます。
- ④ 保険料は全額所得控除の対象となります。
- ⑤ 一定の要件を満たす場合、国からの補助制度があります。



「全国農業新聞」購読者募集中

全国農業新聞は、農業及び農政の現状を中心に、農業者の経営と暮らしに役立つ情報をお届けします。お申し込みは 農業委員会事務局（各地区担当）まで

毎週金曜日発行

購読料 **700** 円/月

北九州市農業委員会事務局の窓口

- ◆ **東部地区担当**（門司区、小倉北区及び小倉南区の区域担当）
北九州市小倉南区若園五丁目1番2号（小倉南区役所内） 【電話】093-951-1021
- ◆ **西部地区担当**（若松区、八幡東区、八幡西区及び戸畑区の区域担当）
北九州市八幡西区光明一丁目9番22号（折尾出張所内） 【電話】093-693-9971
- ◆ **庶務担当**
北九州市小倉北区城内1-1（本庁舎7階） 【電話】093-582-3265

北九州市 農業委員会だより

第2号
(令和3年1月)
編集・発行
農業委員会事務局

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、穏やかな新年を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。平素より北九州市農業委員会の活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。



北九州市農業委員会
会長 井手尾 秋義

昨年は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、世界中が不安を抱える日々となり、今なお続く経済活動の自粛などにより、私たちの生活のさまざまな分野に大きな影響を及ぼしました。

新型コロナウイルスの一日も早い終息を願う次第です。農業分野に目を向けますと、我が国の農業を取り巻く情勢は、担い手の減少と農業従事者の高齢化に伴う農業生産力の低下、遊休荒廃農地の増加など、多くの課題に直面しております。地域の農業生産力及び農業を将来にわたり維持していくためには、担い手の育成に加えて、農地利用の効率化などによる農業生産構造の立て直しが課題となっております。

昨年7月、私ども北九州市農業委員会は、東・西の2つの農業委員会を統合し、農業委員と農地利用最適化推進委員の改選により、新たな組織としてスタートいたしました。

これからは市域と一体となって、本市の農業振興に取り組んでまいりますとともに、農業委員と農地利用最適化推進委員ひとりひとりが、委員としての役割をしっかりと理解し、地域に密着した農業者の代表として、農地の集積や集約、遊休農地の発生防止や解消など、農地利用の最適化に積極的に取り組んでまいります。

新型コロナウイルスの影響により、遊休農地の発生防止・解消をはじめ、担い手の育成・確保、情報提供活動など、農業委員会の現場活動が思うようにできない日々が続きますが、農家の皆さまが安心して農地を守り、農業を営んでいくことができるよう、引き続き積極的に取り組む所存です。

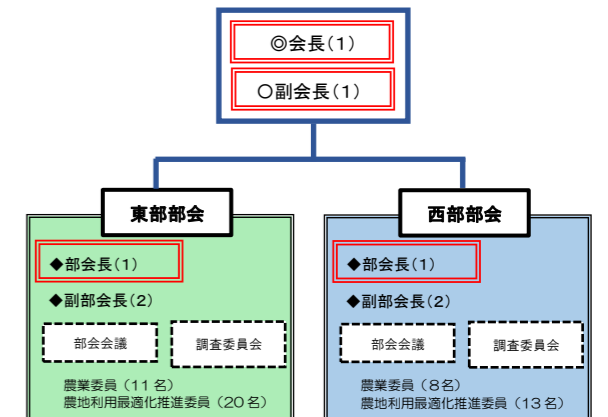
結びに、皆さま方の益々のご健勝を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

令和3年 元旦

「部会制」が始まりました

昨年7月に東・西の農業委員会を統合しましたが、両委員会のこれまでの活動実績、歴史的経緯、そして地域の特性等を活かしながら、機動的、効率的な活動を行っていくため、令和2年11月より「部会制」を採ることとなりました。

門司区、小倉北区、小倉南区を所管する「東部部会」と、若松区、八幡東区、八幡西区、戸畑区を所管する「西部部会」を設け、魅力ある農業経営の確立と振興を図るため、農地の利活用の推進など、農業委員会の一層の活性化に努めてまいります。



部会長は、会長又は副会長が兼ねる。

